

自分らしく、その人らしく、生き生きと、あなたの“生きる”を支えます

第2アドナイ館だより

それでアブラハムはその所の名をアドナイ・エレと呼んだ。これにより、人々は今日もなお「主の山に備えあり」と言う。(創世記22:14)

2014年1月15日 第55号

第2アドナイ館だより

発行 社会福祉法人 十字の園

発行責任者 施設長 鈴木 淳司

〒433-8105

浜松市北区三方原町3014-1 番地

電話 053-582-8181 (代表)

FAX 053-420-0456

e-mail atsushi-s@jyuji.or.jp



迎春

皆様、新年、明けましておめでとうございます。

第2アドナイ館では祝日を除いて月曜日から金曜日朝毎に礼拝を行っています。

そこでは日々の聖句(ローズンゲン)が読まれています。ローズング(ローズンゲンは複数系)とは、合言葉、或いは、くじと言う意味の言葉です。その日与えられた聖句(聖書の言葉)のもとで、その日一日を、村中が祈りを合わせ頑張りましょう、と言う事で始まったものです。ヘルンフト兄弟団(ローズンゲンを発行している団体)では、毎年、それぞれ、その日のために旧約聖書から、くじで聖句が選ばれています。人間の思いを超える神意として、私たちに与えられるものです。新約聖書からも、その日の旧約聖書の聖句にふさわしい聖句が選ばれます。

このローズンゲンはドイツのヘルンフト兄弟団で作られたものを、日本ではベテスタ奉仕女母の家の方々が訳して発行して下さっています。

このローズンゲンに書かれています今年の聖句をご紹介します。

「わたしは、神に近くあることを幸いです。」

(聖書 詩編73:28節の初めの1行)です。

この聖句は、それがラッキーな偶然であったと言う事でも、自分自身で神のおそばにいられるように万全を期して人生設計を立てたと言う意味でもありません。この詩編が歌っているのは、神の贈り物としての幸いです。神は私たちの道を知り、私たちと共に歩み、私たちと語り合おうと言う意志をお持ちなのです。

『黎明の中にも既にいます主は私の身近におられ、語られる』とヨッヘン・クレッパー(ドイツの詩人)は彼の詩に書いています。

この騒がしく、不透明な日々の中で、できるだけ多くの人々が、神の近くにいる幸いを経験できる助けとなることを、日々の聖句は願っています。人生の道程を一人ぼっちで進むようなことがなく、常に神とそして他の人々との対話が伴いますように。

ヘルンフト兄弟団

日々の聖句

LOSUNGEN
2014

- 1日(日) 絵画教室
- 2日(月) 理事会
- 3日(火) 茶道(馬場様)
介護相談
管理運営会議
- 4日(水) クラブ活動



- 5日(木) 職員勉強会
- 6日(金) 讚美歌の会
- 7日(土)
- 8日(日) 絵画教室
- 9日(月) 買い物ツア-
ミントのパン

- 10日(火) 2階エント会議
- 11日(水) 1階エント会議
移動図書
- 12日(木) 書道教室
- 13日(金) おしゃべりの会
- 14日(土) momoの会]サ-ト
健康づくり教室
- 15日(日) クリスマツリ-飾付



- 16日(月)
- 17日(火) 茶道(金子様)
- 18日(水) メガネ相談
懐メロの会
- 19日(木) ビューティーハルパ-
Dr 回診
- 20日(金) 讚美歌の会

- 21日(土)
- 22日(日)
- 23日(月) ピアノコンサート
- 24日(火)
- 25日(水) クリスマス祝会



- 26日(木) 餅つき
- 27日(金) 聖書の会
- 28日(土)
- 29日(日)
- 30日(月) 防災訓練
- 31日(火) 大晦日

1月(睦月)の予定

絵画教室	19・26日	書道教室	23日
お茶会	21日(金子)	茶道教室	7日(馬場)
聖書の会	24日	讚美歌	3・17日
買い物ツア-	6・28日	美容室	23日
懐メロ	22日(早川)	防災訓練	28日
看護友の会	18日	母の家礼拝	未定
おしゃべりの会	4日	診察	9日

お誕生日おめでとうございます。(1月)
山浦ミツ 様(95歳) 豊田康子 様(96歳)

クリスマス祝会



クリスマスツリー

クリスマス礼拝



子供達との交流



サンタクロース



楽しい食事

第2アドナイ館苦情相談について

苦情受付時間	月~金曜日 8時~18時
苦情相談窓口	主任 鈴木 晶子
苦情解決責任者	施設長 鈴木 淳司
御意見箱設置	各フロア・玄関ロビーに設置しています
前月のご意見・苦情の件数	
苦情	0件
ご意見	0件